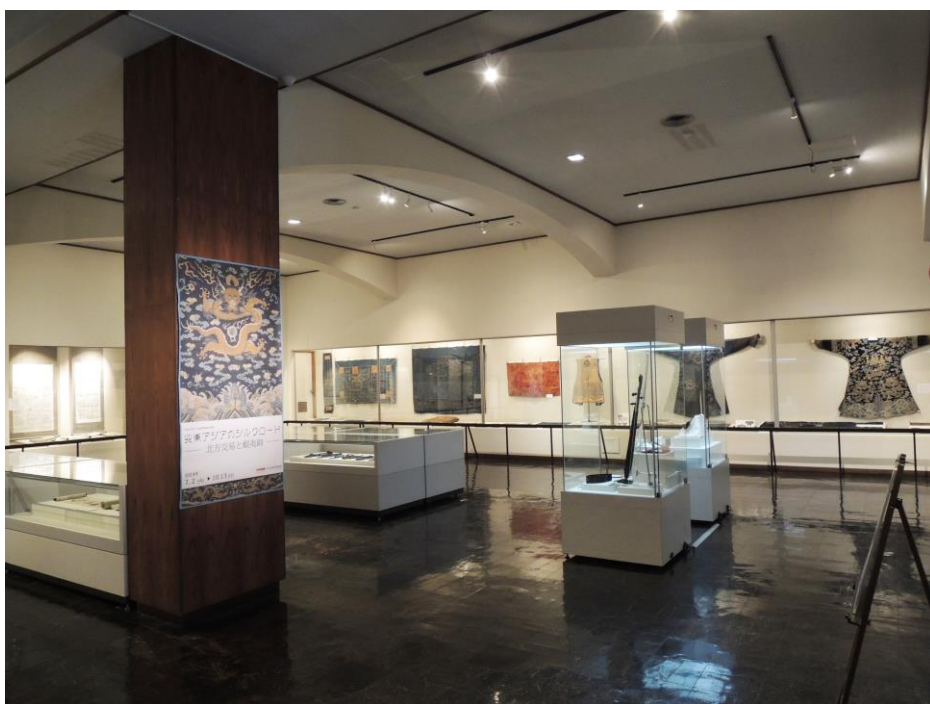


—企画展開催報告—

## 北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦—



展示状況



勅修奴兒干永寧寺記 拓本

令和6年度は本館第2展示室において、北方先住民族間で行われていた「サンタン交易」とその産物である「蝦夷錦」をテーマとした企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦—」を開催しました。

現在、主に北海道南西部や青森県の博物館や寺社等において蝦夷錦と呼ばれる絹織物が残されていますが、これらは中国の明・清朝が制作した官服やその加工品等であり、明・清朝がアムール川流域のナーナイやウリチといった先住民族を治めるために行った朝貢交易により下賜したものが、ニヴフやアイヌなどのサハリン・北海道の先住民族との交易を経て北海道や本州にまでもたらされたものです。交易の担い手であったナーナイやウリチが近隣の先住民族から「シャンタ」「サンタ」などと呼ばれていたことからその交易はサンタン（山丹）交易と呼ばれ、中国からの絹製品が流通したその交易ルートは「北東アジアのシルクロード」とも評されました。

会場では北海道南西部・青森県下北地方に残された官服や、それらを加工した打敷や袷裳、山車人形の衣装などの蝦夷錦を展示するとともに、15世紀ころの中国の先住民族政策をうかがい知ることのできる貴重な石碑「永寧寺記」の拓本や、19世紀初頭に幕吏間宮林蔵がアムール川流域での交易の様子を記録した「東韃地方紀行」なども展示し、北東アジアのシルクロードの実像について紹介しました。そして、蝦夷錦とともに重要な交易品であった青玉ーガラス玉ーについても、アイヌの首飾りである「タマサイ」や、根付にガラス玉が使用された小刀や煙草入れなどを展示・紹介しました。

また会期中には地元紙で「視点！論点！北東アジアのシルクロード」と題したコラムを8回連載したほか、国立アイヌ民族博物館との共催によるシンポジウム「北方先住民族の交易と産物」を開催し、北方先住民族研究の第一人者である同館佐々木史郎館長や弘前大学の瀧本壽史特任教授、そしてアムール川河口部で間宮林蔵の足跡を踏査したノンフィクション作家相原秀起氏にご講演いただきました。企画展はもとより、いずれの関連事業においても多くの機関や研究者の方々からの多大なるご協力によって開催することができ、関係各位には心より感謝申し上げます。

(大矢 京右)

# 一 収集・収蔵

## 収蔵資料概数一覧

※令和7年3月31日現在

分類	件数	点数
博物館史	455 件	1,709 点
地質鉱物	2,036 件	2,936 点
植物	11,315 件	11,338 点
動物	11,141 件	24,290 点
考古	12,065 件	585,739 点
歴史	6,858 件	24,733 点
民俗	7,911 件	23,094 点
民族	7,114 件	13,890 点
美術工芸	7,020 件	8,416 点
合計	65,915 件	696,145 点

※一部の寄託資料を含みます。

※一括資料は1件1点で計算しています。

※収蔵資料データベースの再整理を適宜実施しているため、数値が変動する可能性があります。

※北洋資料館・戸井町・恵山町の旧蔵資料は含みません。

## 令和6年度 新収蔵資料

- 函館大火写真アルバム 1件1点  
【函館市：藤井 壽夫 氏 寄贈】
- 向山家資料 20件148点  
【函館市：藤巻 英里 氏 寄贈】
- 煙管 1件1点  
【八雲町：椎久 健夫 氏 寄贈】
- 掛軸 他 2件2点  
【東京都：中野 真理子 氏 寄贈】
- 写真 他 2件3点  
【札幌市：河合 理子 氏 寄贈】
- 函館実地明細絵図 1件1点  
【千葉県：黒田 博美 氏 寄贈】
- 函館市街絵はがき 他 4件38点  
【札幌市：永谷 雅子 氏 寄贈】
- 函館大洋倶楽部創部100周年記念パネル 1件1点  
【函館市：佐藤 美子 氏 寄贈】
- ポスター 1件2点  
【函館市：大塚 隆 氏 寄贈】
- 金丸大作氏写真関係資料 他 1件一括  
【茨城県：金丸 友世 氏 寄贈】
- 牛乳瓶 1件1点  
【函館市：時任町会 会長 高橋 松恵 氏 寄贈】
- 鮎野岬 他 31件31点  
【神奈川県：池谷 まゆみ 氏 寄贈】
- 戊辰戦争完形布告書綴り 他 2件2点  
【東京都：徳山 薫 氏 寄贈】
- チョッキ 他 35件73点

【新潟県：深野 せき子 氏 寄贈】

■ 箏 他 44件103点

【函館市：小中 孝 氏 寄贈】

■ 土器 他 25件25点

【函館市：中越 美恵子 氏 寄贈】

■ 文書・記録類 他 60件71点

【新潟県：高野 雄二 氏 寄贈】

■ 標本筆筒 他 4件4点

【千葉県：(公財)山科鳥類研究所 寄贈】

※旧蔵資料登録および所管替え資料は掲載していません。

## デジタルアーカイブ

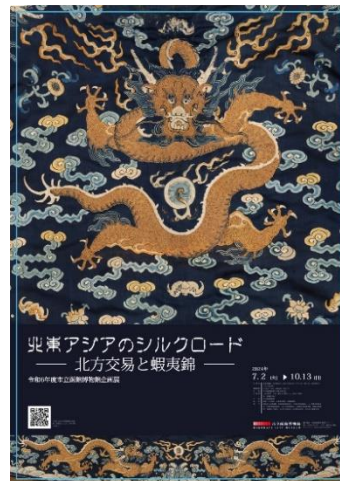
※令和7年3月31日現在

<https://hakohaku-archives.c.fun.ac.jp/>

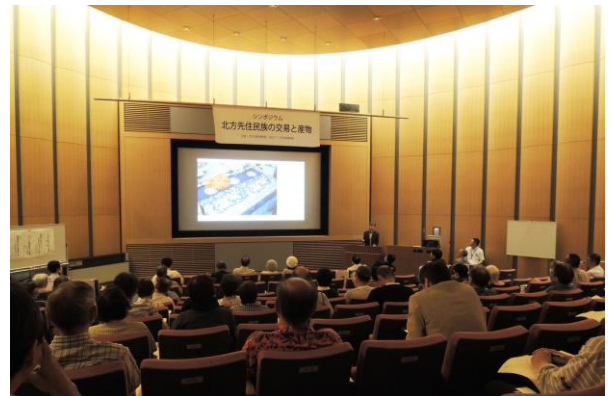
■ 博物館史資料	0 件
■ 自然資料	803 件
■ 考古資料	594 件
■ 歴史資料	519 件
■ 民俗資料	370 件
■ 民族資料	232 件
■ 美術資料	418 件
合計	2,936 件

# 一 普及（展覧会）

## 企画展



名称	北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー
期間	令和6年7月2日(火)～10月13日(日)
開館日数	104日間中84日
後援・協力	函館アイヌ協会 他 計3機関
出品協力	函館市中央図書館 他 計11機関・1個人
出品資料	蝦夷錦 他 計104点
観覧者数	5,417名
関連事業	・展示解説セミナー ・シンポジウム「北方先住民族の交易と産物」 ・コラム連載
担当	大矢



函館市中央図書館で開催したシンポジウム

## 令和6年度展覧会開催状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日	4/1~6/23		6/24~7/1	7/2~10/13			10/14~22	10/23~2023/3/31				
ロビー	ロビー展 「函館大火90年 昭和9年3月21日 函館の街が焼けた日」 担当：内田		全館 休館 展示 替え	ロビー展 「函館大火90年 昭和9年3月21日 函館の街が焼けた日」 担当：内田			全館 休館 展示 替え	ロビー展 「洞爺丸の悲劇から七十年」 担当：福田				
第1展示室	収蔵資料展 「はこだての歩み（通史）」 担当：大矢			収蔵資料展 「はこだての歩み（通史）」 担当：大矢				収蔵資料展 「はこだての歩み（通史）」 担当：大矢				
第2展示室	収蔵資料展 「函館の円筒土器文化」 担当：福田			企画展 「北東アジアのシルクロード —北方交易と蝦夷錦—」 担当：大矢				収蔵資料展 「函博コレクション ~HAKYO~ 蠣崎波響展」 担当：高柳				
第3展示室	収蔵資料展 「箱館戦争」 担当：内田 五稜郭築造160年記念パネル展 「五稜郭レベル160」 担当：内田			収蔵資料展 「箱館戦争」 担当：内田 五稜郭築造160年記念パネル展 「五稜郭レベル160」 担当：内田				収蔵資料展 「箱館戦争」 担当：内田				

### 収蔵資料展

市立函館博物館  
収蔵資料展

函博コレクション  
**HAKYO**  
蠣崎波響展

令和6年  
10月23日(水)  
?  
令和7年  
6月22日(日)

市立函館博物館  
HAKODATE CITY MUSEUM  
〒041-8601 函館市本町1-1-1  
TEL: 0157-22-1111 FAX: 0157-22-1109  
E-MAIL: info@city.hakodate.lg.jp

名称	函博コレクション ~ HAKYO ~ 蠣崎波響展
期間	令和6年10月23日(水) ~ 令和7年3月31日(月)
開館日数	160日間で121日
後援・協力	なし
出品協力	函館市中央図書館
出品資料	巖上篤篤因 他 計28点
観覧者数	4,580名
関連事業	・学芸員こぼれ話②
担当	高柳

※令和7年度も継続

蠣崎波響は松前藩の家老、画や詩文に優れる文化人と多彩な顔を持ち合わせた人物で、中でも画家としての名声は、日本画の巨匠である円山応挙にちなみ「松前応挙」と呼ばれるほど名高いものです。本展では令和6年(2024年)が生誕260年にあたることを記念し、3階第2展示室において、函館市で所蔵する作品を展示しています。



収蔵資料展開催状況

### ロビー展

市立函館博物館ロビー展

洞爺丸の  
悲劇から  
七十年

一人の写真家が選んだ洞爺丸台風事故の記録  
～金丸大作氏の遺作より～

令和6年10月23日～令和7年6月22日

市立函館博物館  
HAKODATE CITY MUSEUM  
〒041-8601 函館市本町1-1-1  
TEL: 0157-22-1111 FAX: 0157-22-1109  
E-MAIL: info@city.hakodate.lg.jp

名称	洞爺丸の悲劇から七十年
期間	令和6年10月23日(水) ~ 令和7年3月31日(月)
開館日数	160日間で121日
後援・協力	なし
出品協力	なし
出品資料	洞爺丸台風遭難通信関係記録 他 計46点
観覧者数	4,580名
関連事業	なし
担当	福田

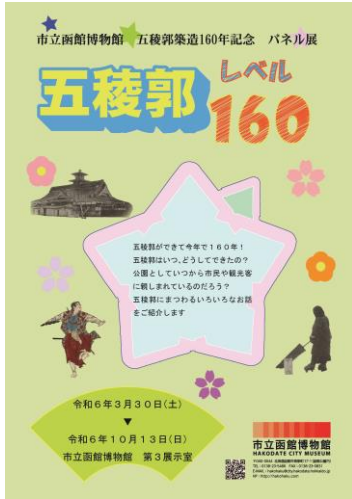
※令和7年度も継続

昭和29年(1954年)9月、未曾有の犠牲者を出した洞爺丸台風の事故から七十年を迎えた令和6年、元青函連絡船の通信士であり写真家でもあった故金丸大作氏の遺品が寄贈されました。ご本人の意思でもあるこの悲劇を風化させないことを願い、事故を記録した写真を中心に連絡船に関する資料、愛用の制服やカメラなどを展示しています。



ロビー展開催状況

### パネル展



名称	五稜郭築造160年記念 パネル展 五稜郭レベル160
期間	令和6年3月30日(土) ～10月13日(日)
開館日数	197日間で157日
後援・協力	函館市中央図書館
出品協力	なし
出品資料	コンプラ瓶 他 計5点
観覧者数	12,419名
関連事業	・五稜郭探検隊
担当	内田

令和6年(2024年)が元治元年(1864年)の五稜郭築造および箱館奉行所開庁から160年、そして大正3年(1914年)の五稜郭公園誕生から110年の節目にあたることから、五稜郭にまつわる歴史を紹介するとともに出土遺物などの関連資料を展示しました。



パネル展開催状況

### 令和6年度入館状況

	常設展	企画展	合計
開催期間	4/1～6/23 10/23～3/31	7/2～10/13	4/1～3/31
開館日数	193日/244日	84日/104日	277日/365日
有料入館者	5,827人	4,836人	10,663人
無料入館者	5,515人	581人	6,096人
入館者合計	11,342人	5,417人	16,759人

### 令和7年度企画展開催予告

※展覧会名称および開催期間はいずれも予定

■企画展「知られざるオホーツク海先史文化紀行」(7～10月)

厳冬期になると流氷が押し寄せるオホーツク海は、世界自然遺産「知床」に代表されるように水産資源に

恵まれた豊かな海域で、はるか大昔の先人たちが行き交い、かつては北洋漁業で賑わいをみせたこともあります。現在は往来が難しいこの地域から出土した先史時代の貴重な遺物が本館には収蔵されています。この夏、函館のコレクションを一堂に展示して北の海へと誘います。



モヨロ\_熊形骨偶 S

### — 普及 (講座) —

#### 「学芸員こぼれ話」を開催

学芸員が調査研究の過程で得たちょっとした話題を提供する講座、「学芸員こぼれ話」を開催しました。

考古・美術・歴史・民族分野の各学芸員が思い思いにテーマを設定し、民族分野では、千島樺太交換条約締結で政府によって移住を強いられた樺太アイヌと千島アイヌが、様々な理由で函館を訪れたことについてお話ししました。



1886年に函館を訪れた千島アイヌと役人

#### 協力機関等

市立函館博物館友の会、函館市消防本部、公益財団法人アイヌ民族文化財団、佐藤理夫、尾崎渉、宮本雅通、中田弥幸、新田紀敏、川嶋稔夫、佐藤智雄、相原秀起 (順不同・敬称略)

## 令和6年度 講座開催実績

### 【単講座】

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
1	春の自然観察会	5月11日	外部講師	9 / 20
2	博物館旧一号館公開	5月25日	福田	220 / -
3	夏休み自由研究 「貝の標本をつくろう」	7月31日	外部講師	8 / 15
4	夏休み自由研究 「黒曜石で石器をつくろう」	8月1日	外部講師	15 / 15
5	夏休み自由研究 「鹿の角で縄文時代の釣り針をつくろう」	8月6日	福田	12 / 10
6	夏休み自由研究 「火事の歴史と火災予防を知ろう」	8月8日	内田	8 / 15
7	夏休み自由研究 「夕泊川 歴史と自然観察ツアー」	8月10日	外部講師	13 / 15
8	夏休み自由研究 「函館公園の花で押し花し作り」	8月16日	外部講師	12 / 10
9	夏休み自由研究 「五稜郭探検隊」	8月24日	内田	4 / 15
10	博物館旧一号館公開	9月7日	内田	419 / -
11	千島アイヌのコーディング技法で コースターをつくろう	10月5日	外部講師	6 / 6
12	五稜郭探検 ～五稜郭と箱館戦争を検証する～	10月6日	外部講師	14 / 15
13	アイヌの花ごま編みの技法で コースターをつくろう	10月13日	外部講師	10 / 10

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
14	デジタルでみる！博物館資料鑑賞会	12月8日	外部講師	15 / 15
15	学芸員こぼれ話① 「縄文時代の生活・文化あれこれ」	12月15日	福田	9 / 15
16	冬休み自由研究 「函館のすごろくゲームを作ろう」	12月22日	外部講師	8 / 15
17	学芸員こぼれ話② 「絵を読む～蠣崎波響筆『牡丹睡猫図』～」	1月11日	高柳	6 / 15
18	冬休み自由研究 「昔の道具を使ってみよう」	1月18日	外部講師	0 / 15
19	学芸員こぼれ話③ 「忘れない！函館大火」	3月9日	内田	7 / 15
20	学芸員こぼれ話④ 「函館に来た樺太アイヌと千島アイヌ」	3月22日	大矢	6 / 15

計 801 / 251 名

### 【展示解説セミナー】

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
1	展示解説セミナー 企画展「北東アジアのシルクロード」	7月14日 9月7日	大矢	44 / -
2	展示解説セミナー 「博物館まごころ解説」	9月28日	福田・大矢・内田	6 / -

計 50 / 0 名

### 【おもてなし講座】

No.	講座名	開催期日・時間	講師	件数/人数
1	行ってみよう！博物館 「博見学のススメ」	随時 (休館日等を除く)	全学芸員	27 / 512

## 講師派遣等

- 北海道教育大学函館校地域プロジェクト「道南のアイヌの人々への地域支援」（6月14日）大矢
- はこだて検定合格者の会ともえ塾「大火と街づくり」（7月26日）内田
- 函館市シニア大学亀田校「北東アジアのシルクロード」（8月20日）大矢
- はこだて検定合格者の会ともえ塾「道南の縄文文化」（8月30日）福田
- 函館市シニア大学青柳校「北東アジアのシルクロード」（9月5日）大矢
- 函館市立巴中学校総合学習SDGs講話「アイヌの歴史と文化」（11月7日）大矢
- 七飯町歴史館夜の博物館「道南アイヌ史ー七飯町の事例を中心にー」（1月16日）大矢
- 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館考古学講座「函館の土偶について」（2月8日）福田

## 一 調査・研究

### 調査・研究事業

- 市立函館博物館所蔵植物標本整理事業（大矢）
- 商業関連民俗資料調査事業（大矢）
- 次年度展覧会調査（福田）

### 研究論文・一般著述等

- 大矢京右 2024「明らかになる北方先住民族交易」, 令和6年7月5日付け函館新聞10面.
- 大矢京右 2024「学芸員レポート 千島アイヌのテンキづくり講座覚書」, 令和6年9月11日付け北海道

新聞16面.

- 大矢京右 2025「市立函館博物館令和6年度企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー」」『北海道民族学』21:103-106, 北海道民族学会.
- 大矢京右・新田紀敏 2025「市立函館博物館所蔵森武コレクションー種子植物標本の分析を中心にー」『市立函館博物館研究紀要』35:44-77, 市立函館博物館.
- 川井唯史・大矢京右・四ツ倉典滋 2025「市立函館博物館所蔵標本によるマコンブ*Saccharina japonica* var. *japonica* 漁業と自然誌」『市立函館博物館研究紀要』35:78-96, 市立函館博物館.
- 内田彩葉 2025「〈資料紹介〉函館大火関係資料」『市立函館博物館研究紀要』35:97-103, 市立函館博物館.

### 研究発表・講演等

- 熊谷正「市立函館博物館における資料管理の考え方」, 第62回北海道博物館大会「博物館資料の望ましい管理」（7月11日）
- 大矢京右「市立函館博物館とアイヌ資料ーアイヌ文化への還元をめざしてー」, 第37回アイヌ民族文化祭2024「郷土の歴史再発見企画：道南のアイヌ文化について考える」（10月26日）

### 印刷物発行

- 市立函館博物館編 2024『北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー』. ※令和6年7月2日発行 36頁
- 市立函館博物館編 2025『市立函館博物館 研究紀要』, 35. ※令和7年3月31日発行 103頁

## 研修参加等

- 道南ブロック博物館施設等連絡協議会令和6年度研修会(6月19日)参加(熊谷・高柳)
- 2024年度北海道博物館協会研修会(7月10日)参加(熊谷・福田・大矢・高柳・内田)
- 令和6年度リモートラーニングによるデジタル人材育成のための基礎研修(9月)修了(全職員)
- 令和6年度アイヌ政策推進交付金地域説明会(11月8日)参加(熊谷・大矢)

## 一連携・協力事業等

### 共催・協力事業

- 函館市戸井西部総合センター「戸井地区文化財展示」(平成28年4月5日～)「戸井の板碑」他計94点展示
- 函館市恵山コミュニティセンター「恵山町の縄文と世界遺産」(令和3年7月28日～)「円筒土器」他計39点展示
- 函館市総務部総務課主催「函館空襲と太平洋戦争一戦争と平和資料展」(令和6年7月8日～19日)「日章旗」他計14点展示協力
- 北海道博物館協会主催「第62回北海道博物館大会」(令和6年7月11日～12日)共催
- 函館市文学館「梁川剛一コーナー」(令和6年9月13日～)「アンクルトム物語」他計16点展示
- 函館アイヌ協会主催「第9回函館イチャルパ」(令和6年10月12日)後援・協力
- 公益社団法人北海道アイヌ協会主催「第37回アイヌ民族文化祭2024」(令和6年10月26日)共催
- 国立アイヌ民族博物館主催「ウイマムレプンカ サンタン交易と蝦夷錦」(令和7年3月15日～5月18日)開催協力



第9回函館イチャルパの様子

### 資料貸出

- 函館市北洋資料館常設展(平成2年4月1日～)「北

洋用漁業関係資料」約900点展示

- 箱館奉行所常設展示(平成22年7月28日～)「エンフィールド銃」他計6点貸出
- 石川県九谷焼美術館主催「久谷赤絵」(令和5年6月28日～令和8年)「人物瑞獣図鉦鉢」貸出
- 函館市縄文文化交流センター常設展示(令和6年4月1日～令和7年3月31日)「戸井貝塚出土資料」他計112点貸出
- 函館市消防本部「市民防災教育展示」(令和6年4月1日～令和7年3月31日)「消防ポンプ車」他計3点貸出
- 三内丸山遺跡センター主催「海がむすぶ縄文一津軽海峡と三内丸山」(令和6年7月12日～9月23日)「舟形土製品」他計22点貸出
- 北海道博物館主催「みんなの鉄道一がんばれ!地域の公共交通」(令和6年7月20日～9月23日)「メニュー」他計3点貸出
- 佐井村教育委員会主催「海峡ミュージアム常設展」(令和6年8月23日～10月23日)「樹皮衣」他計5点貸出
- 国立アイヌ民族博物館ほか主催「驚異と怪異一想像界の生きものたち」(令和6年9月14日～11月17日)「落下コロポックル人の図」貸出
- 長者ヶ原考古館主催「糸魚川を旅立ったヒスイ」(令和6年9月26日～12月13日)「日ノ浜遺跡出土硬玉製玉」他計5点貸出
- 北海道立函館美術館主催「蠣崎波響生誕260年 蠣崎波響と松前の至宝」(令和6年10月13日～12月8日)「龍虎図」他計7点貸出
- 函館市縄文文化交流センター主催「函館空港発掘50年史」(令和6年10月26日～令和6年12月15日)「石鏃」他計52点貸出
- 国立アイヌ民族博物館主催「ウイマムレプンカ サンタン交易と蝦夷錦」(令和7年3月15日～5月18日)「蝦夷錦」他計23点貸出

### 資料調査・取材対応

- |       |     |
|-------|-----|
| ■考古資料 | 13件 |
| ■歴史資料 | 7件  |
| ■民族資料 | 13件 |
| ■美術資料 | 4件  |

### 資料利用(掲載等)許可

- |       |     |
|-------|-----|
| ■自然資料 | 2件  |
| ■考古資料 | 24件 |
| ■歴史資料 | 55件 |
| ■民俗資料 | 1件  |
| ■民族資料 | 15件 |
| ■美術資料 | 12件 |

## 会議出席

- 2024年度北海道博物館協会第1回役員会・表彰委員会（5月17日）出席（熊谷）
- 道南ブロック博物館施設等連絡協議会第1回役員会（5月30日）出席（熊谷・福田）
- 令和6年度第1回「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク」運営委員会（6月13日）オンライン出席（大矢）
- 道南ブロック博物館施設等連絡協議会令和6年度総会（6月19日）出席（熊谷・高柳）
- アイヌ政策推進ネットワーク会議（7月24日）オンライン出席（熊谷・大矢）
- 道南ブロック博物館施設等連絡協議会第2回役員会（8月29日）出席（熊谷・福田）
- 令和6年度第2回「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク」運営委員会（11月7日）オンライン出席（大矢）
- 道南ブロック博物館施設等連絡協議会第3回役員会（12月19日）出席（熊谷・福田）

## — 博物館短信 —

### 北方民族資料館展示リニューアル

函館市北方民族資料館1階展示ホールには、アイヌ風俗12ヵ月屏風の複製（懸垂幕）等を開館以来展示していましたが、設置から30年を経て劣化が顕著だったことからこのたびリニューアルしました。

なお資料の高精細画像作成は公立ほこだて未来大学の川嶋稔夫特命教授に、デザインは同学岡本誠特命教授にご協力いただきました。



リニューアルしたアイヌ風俗12ヵ月屏風懸垂幕と解説板

### 植物標本の整理進む

当館では10,000点以上の植物標本を所蔵していますが、令和5年度から再整理と保管状況の改善を実施しています。作業は植物分類学者の新田紀敏氏による全面的な協力の下で行い、その成果は博物館ロビーで

のミニ展示「ひとつぼミュージアム」や、博物館デジタルアーカイブで公開していますが、今後も様々なかたちで発信していきます。

### 第62回北海道博物館大会開催

7月11日から12日の2日間にわたり、函館市民会館を会場に北海道博物館大会が開催され、道内外から約100名が参加しました。1日目は総会、功労者表彰式と特別報告に続き、「博物館資料の望ましい管理」をテーマに研究大会が開催されました。2日目には、函館博物館および北方民族資料館のコースと、南茅部地域の縄文文化交流センターおよび史跡垣ノ島遺跡のコースに分かれてエクスカージョンが行われました。



垣ノ島遺跡でのエクスカージョン

### アイヌ遺骨等の地域返還と集約

市立函館博物館ではアイヌの人々のご遺骨と副葬品を保管していましたが、令和6年2月に策定した取扱方針に基づき、8月4日に帯広アイヌ協会への地域返還を、9月30日にウポポイの慰霊施設への集約を完了することができました。北海道アイヌ協会をはじめ、ご協力いただきました各機関に感謝申し上げます。



慰霊施設での鎮魂式で代表あいさつする熊谷館長

### アイヌ民族文化祭函館開催

10月26日、亀田交流プラザにおいて第37回アイヌ民族文化祭（北海道アイヌ協会・函館市・函館市教育委

員会共催)が開催されました。

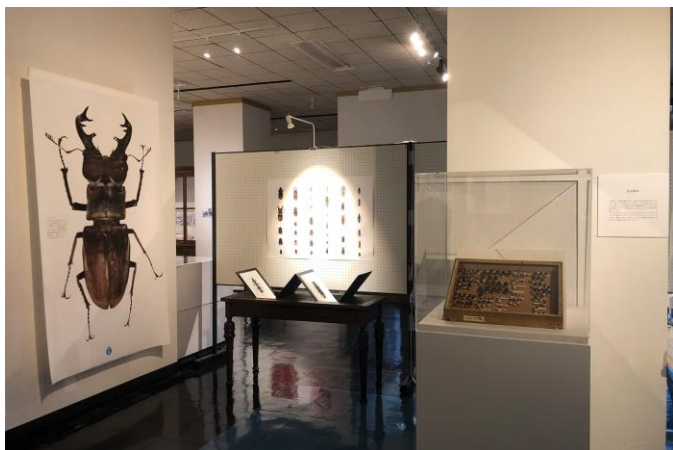
函館では11年ぶり3回目の開催で、東北学院大学榎森進名誉教授による講演や八雲町ユーラップハンチカプの会による古式舞踊公演等が披露され、会場には約100名の参加者が来場しました。



ユーラップハンチカプの会によるウポポの披露

## ひとつぼミュージアムの展開

資料のデジタルアーカイブ化の過程で撮影された高精細画像と、それを基にした複製資料や実物資料等を複合的に展示する「ひとつぼミュージアム」をロビーの一角で展開しています。これまでに「さわる植物標本 うごく植物標本」(令和5年8月10日～令和6年4月26日)、「夏休み特別企画 虫展」(令和6年7月27日～8月30日)を開催し、現在は「刀装具展」(令和6年4月27日～、虫展開催期間を除く)を開催中です。



「夏休み特別企画 虫展」開催の様子

## 総合ミュージアム検討会議終了

「函館市(仮称)総合ミュージアム」整備について、令和5年12月から検討会議を開催して基本的な考え方に関する協議・検討が進められてきましたが、令和6年9月に終了しました。検討結果に基づき、考え方については今後修正が行われますが、検討会議からは文化財資源の活用などに関する要望なども含まれた検討結果報告書が教育長に提出されました。



川嶋稔夫座長から教育長へ報告書の提出

## 令和6年度職員構成等

### 館長

熊谷正

### 管理担当

三浦正志 (主査)  
高橋陽子  
亀田匡一 (会計年度任用職員)  
汲田充洋 (会計年度任用職員)  
倉田みち子 (会計年度任用職員)

### 学芸担当

福田裕二 (主査、考古)  
大矢京右 (主査、民族・自然)  
小林 貢 (民俗)  
高柳美咲 (美術)  
内田彩葉 (歴史)  
山本泰子 (会計年度任用職員)

### 図書館郷土資料担当

河上有加 (主査)  
水島弘美  
奥山麻央 (会計年度任用職員)  
宮井七彩 (会計年度任用職員)  
上山陽菜 (会計年度任用職員)

SARANIP—サラニップ—No. 64

編集・発行 市立函館博物館

〒040-0044

北海道函館市青柳町17番1号

TEL:0138-23-5480 FAX:0138-23-0831

E-mail:hakohaku@city.hakodate.hokkaido.jp

HP: http://hakohaku.com/

—誌名SARANIP(サラニップ)—  
アイヌ語：樹皮を編んで作った袋

博物館情報や研究成果などをSARANIPに入れておき、その蓄積が今後重要な資料と  
なっていくようにと命名したものです。